

- 問1 発展途上国などにおいて、自国の食料にするためではなく、外国へ売却して外貨を得ることを主目的として栽培される茶やコーヒーなどの作物を何といいますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. 園芸作物 2. 穀物類 3. 商品作物 4. 自給用作物
- 問2 アフリカ大陸の最南端に位置する南アフリカ共和国において、1990年代前半まで長年にわたって行われていた、白人とそれ以外の人種を厳格に区別し、居住区や公共施設などを分ける人種隔離政策を何といいますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. プランテーション 2. ホワイト・オーストラリア政策 3. アパルトヘイト 4. カースト制度
- 問3 2000年から2010年にかけてのアフリカ州では、人口増加率が約27.6%と他の地域に比べて非常に高い数値を示しています。この人口の変化が土地利用に与えた影響について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。
2. 砂漠化の進行によって居住に適さない土地が増えたため、残された森林を保護し、限られた農地を都市部へと転換した。
3. 急速な工業化が進んだことで、工場用地や都市を整備するために森林が伐採され、農地も工業団地へと作り替えられた。
4. 人口増加による労働力不足を解消するため、機械化による大規模農業が普及し、不要になった森林をすべて牧草地へと変えた。
- 問4 アフリカ諸国の産業構造を示したデータのうち、輸出総額に占める工業用ダイヤモンドの割合が約91%と極めて高く、特定の資源に依存した経済状況にある国はどこですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
1. ボツワナ 2. 南アフリカ共和国 3. ナイジェリア 4. エジプト
- 問5 アフリカ州の国々の中には、市場でフランスパンが売られていたり、公用語としてフランス語と現地の言語が併記されていたりする国があります。また、統計資料において輸出相手国の第1位がフランスとなっていることも少なくありません。これらの事実に共通する歴史的な背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. かつてフランスの植民地として支配を受けていた歴史があるため
2. フランスと軍事同盟を結び、食料や言語の無償支援を受けているため
3. アフリカ連合 (AU) の規定により、公用語をフランス語に統一したため
4. フランスからの観光客を誘致するために特区を設けているため
- 問6 西アフリカの湿潤な地域における食文化と農業の特色について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 熱帯の気候を活かしてヤムイモなどの芋類を栽培し、バナナの葉で包んで蒸したり揚いだりして食べる習慣がある。
2. 地中海性気候を利用して、夏は乾燥に強いオリーブ、冬は小麦を栽培する自給的な農業が中心である。
3. 降水量が少ないため、灌漑施設を整備してタイなどから伝わった米の二期作を大規模に行っている。
4. アンデス山脈原産のじゃがいもを冷涼な高地で栽培し、凍結乾燥させて保存食に加工している。
- 問7 サヘル地域において、砂漠化が進行する主な原因の一つである「過放牧」の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 化学肥料を大量に使用し続けたことで土壌の微生物が死滅し、土地が本来持つ生産力を失うこと
2. 農地を確保するために広大な熱帯林を焼き払い、その灰を肥料として利用した後に土地を放置すること
3. 人口増加に伴い家畜を増やしすぎたことで、再生能力を超えて草を食べ尽くし草地を破壊すること
4. 大規模な灌漑施設を建設して地下水を過剰に汲み上げ、毛細管現象によって地表に塩分を蓄積させること
- 問8 大西洋とインド洋に挟まれ、北は地中海に接している広大な大陸があります。大陸の中央付近を赤道が横切っているという地理的特徴を持ち、世界で二番目に広い面積を持つ大陸の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. オーストラリア大陸 2. アフリカ大陸 3. ユーラシア大陸 4. 南アメリカ大陸
- 問9 アフリカ連合 (AU) が加盟国間の統合を推し進めている背景にある、地理的・歴史的な事情を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. アフリカ全土で公用語が一つに統一されており、民族間の対立が全く存在しないため、政治的な統合が容易に進んでいるから。
2. 加盟国のすべてがモノカルチャー経済を脱却して高度経済成長を遂げたため、共通通貨を導入してヨーロッパに対抗するため。
3. 砂漠化や熱帯雨林の減少などの環境問題が完全に解決されたため、その成果を世界に広めるための広報組織が必要になったから。
4. 植民地時代の国境線によって民族が分断されたり内陸国が生じたりしたため、国境を越えた経済協力や紛争解決の枠組みが必要だから。
- 問10 ナイジェリアの経済において、輸出総額の推移と国際的な原油価格の動きを比較すると、原油価格の上下に連動して輸出総額が増減する傾向が見られます。このような経済構造が抱える課題として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 輸出品目が多角化されているため、一部の製品の価格が下がっても他の輸出で補うことができる。
2. 石油製品の加工技術が高度化したことで、原油価格の変動に左右されない安定した経済成長を実現している。
3. 国内の工業化が進んでいるため、原油価格が下落しても輸出総額への影響はほとんどない。
4. 国際価格の変動が国の経済全体に直接影響するため、財政や景気が不安定になりやすい。
- 問11 アフリカ北東部のナイル川流域では、紀元前3000年頃に国家が統一されました。この文明において、ピラミッドを建設することが可能であった政治的背景として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
1. 仏教の影響を受け、死後の安らぎを求める信仰が広まったため
2. 周辺諸国との貿易を独占し、経済的に豊かな市民が主導したため
3. 市民による民主的な話し合いによって建設が決定されたため
4. 国王が神として崇められ、絶大な権力を持っていたため
- 問12 北アフリカや西アジアの地域において広く信仰されており、その戒律によって豚肉を食べることが禁じられている宗教は何ですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教 2. キリスト教 3. 仏教 4. イスラム教
- 問13 アフリカ諸国の輸出品目を整理した資料において、ケニアでは「茶」が、コートジボワールでは「カカオ豆」が高い割合を占めています。このような状況が生まれた背景として、プランテーション農業の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 国内の食料自給率を向上させるため、主食となる小麦やとうもろこしの生産を国策として奨励したため。
2. 植民地支配をしていた国々によって、輸出向けの特定の商品作物を大規模に生産する体制が整えられたため。
3. 先進国から輸入した苗や肥料を使い、自国内の消費を優先した多品種少量の生産体制が築かれたため
4. 砂漠化の進行を防ぐ目的で、乾燥に強い特定の農作物を集約的に栽培する独自の農法が開発されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 商品作物	発展途上国では、特定の農産物や鉱産資源を輸出することで経済を成り立たせている場合があります。自分の家族や国内で消費するための作物ではなく、市場で売ることを前提に大規模に栽培される作物を商品作物と呼びます。ケニアにおける茶は、国の経済を支える重要な商品作物の代表例です。
問2	答え 3 アパルトヘイト	南アフリカ共和国では、少数の白人が多数の黒人などを支配する体制を維持するため、法的に人種を分離する政策がとられていました。この制度は国際的な非難を浴び、日本を含む多くの国々から経済制裁を受ける原因となりましたが、1990年代に入りデクラーク大統領らによって廃止へと導かれました。
問3	答え 1 急増する人口を養うための食料増産が必要となり、森林を伐採して農地へと転用したことで、森林面積が減少し農地面積が増加した。	アフリカ州は世界的に見ても人口増加率が極めて高く、2000年代の10年間で約27.6%もの増加を記録しています。この急激な人口増加に対応するためには、人々の生活を支えるための食料を確保しなければなりません。そのため、もともとあった森林を切り拓いて耕作地へと作り替える「農地転用」が大規模に行われました。統計上も、森林面積の減少と農地面積の増加が顕著に現れており、これがアフリカにおける主要な環境問題の一つとなっています。工業化や砂漠化も地域的な課題ではありますが、この時期の広域的な土地利用の変化は、主に人口増加に伴う食料問題に起因しています。
問4	答え 1 ボツワナ	ボツワナは南部アフリカに位置する内陸国で、輸出の約91%をダイヤモンドが占めるという極めて高い依存度を示しています。このように特定の品目の輸出に頼る経済は、国際価格の変動による影響を受けやすいという課題があります。他方、ナイジェリアは原油、南アフリカ共和国は金やプラチナなど、国によって主要な鉱産資源は異なります。
問5	答え 1 かつてフランスの植民地として支配を受けていた歴史があるため	アフリカ州には、19世紀から20世紀半ばにかけてヨーロッパ諸国の支配を受けた国が多く存在します。市場でのフランスパンの普及や、公用語としてのフランス語の使用、特定の国への高い輸出依存などは、その地域がかつてフランスの植民地であったことを示す典型的な特徴です。独立後も文化や経済面で旧宗主国（支配していた側の国）との密接な関係が続いている様子を表しています。
問6	答え 1 熱帯の気候を活かしてヤムイモなどの芋類を栽培し、バナナの葉で包んで蒸したり揚いたりして食べる習慣がある。	ナイジェリアをはじめとする西アフリカの熱帯地域では、自然環境に適応した「根栽農耕」が古くから行われてきました。栽培されたヤムイモやタロイモは、バナナの葉で包んで蒸し焼きにするほか、日本の餅のように搗（つ）いて「フフ」と呼ばれる主食にするなど、地域の環境を最大限に利用した独自の調理文化が発展しています。イタリアなどの地中海沿岸や、タイなどの米作地帯とは異なる農業形態です。
問7	答え 3 人口増加に伴い家畜を増やしすぎたことで、再生能力を超えて草を食べ尽くし草地进行破壊すること	サヘル地域では人口の急増により、食糧や収入を得るために許容範囲を超える数の家畜（牛や羊など）を飼育する「過放牧」が行われています。家畜が草を根こそぎ食べてしまうことで、地面を覆う植物が失われ、雨による土壌流出や風による浸食が進むことが砂漠化の大きな要因です。
問8	答え 2 アフリカ大陸	アフリカ大陸は、赤道を挟んで南北にほぼ同じくらいの広がりを持つ大陸です。世界で2番目に大きな面積を持ち、北は地中海、西は大西洋、東はインド洋に囲まれています。赤道が大陸の中央部を通っているため、気候帯が赤道を中心に南北に対称的に分布しているのが大きな特徴です。
問9	答え 4 植民地時代の国境線によって民族が分断されたり内陸国が生じたりしたため、国境を越えた経済協力や紛争解決の枠組みが必要だから。	アフリカの国境線の多くは、植民地支配を行っていたヨーロッパ諸国の都合によって、経線や緯線などを利用して直線的に引かれました。その結果、元々住んでいた民族の分布が無視され、一つの国家の中に多様な民族が混在したり、逆に民族が分断されたりして紛争の火種となりました。また、海に面しない内陸国が数多く生まれたことで、輸出入を近隣諸国に依存せざるを得ない構造があります。AUは、こうした歴史的・地理的なハンデを乗り越え、州全体の安定と発展を追求するために活動しています。
問10	答え 4 国際価格の変動が国の経済全体に直接影響するため、財政や景気が不安定になりやすい。	ナイジェリアは輸出総額の約8割を原油および石油製品に依存しているため、世界情勢によって原油の国際価格が変動すると、その影響をまともに受けてしまいます。価格が下落した際には国の収入が大幅に減り、教育やインフラ整備などの国家予算に深刻な影響を及ぼすことが大きな課題となっています。
問11	答え 4 国王が神として崇められ、絶大な権力を持っていたため	古代エジプト文明では、国王は生きた神として絶対的な権力を持っていました。この強大な権力によって、多くの労働力と長い年月を必要とするピラミッドの建設が可能となりました。紀元前3000年頃の国家統一以降、こうした強力な支配体制が確立されました。
問12	答え 4 イスラム教	北アフリカや西アジアでは住民の多くがイスラム教を信仰しています。イスラム教には聖典「コーラン」に基づいた厳格な生活上の決まり（戒律）があり、その中で豚肉を食べることは禁じられています。このため、これらの地域の統計では豚の飼育数や消費量が他の地域に比べて極めて少ないという特徴が見られます。
問13	答え 2 植民地支配をしていた国々によって、輸出入向けの商品作物を大規模に生産する体制が整えられたため。	ケニアの茶やコートジボワールのカカオ豆といった特定の農産物が輸出の多くを占めているのは、かつての植民地時代に、支配国側が自国への輸出や国際取引に有利な作物を大規模に栽培させた名残です。このように特定の農作物の輸出に依存する経済構造は、国際価格の変動に影響を受けやすいという課題も抱えています。